

産科医療補償制度 補償対象となった方および、保護者様
「重大事案発生時の患者・家族と医療者の診療経過の捉え方の相違～産科医療補償
制度データを用いたパイロット研究～」についてのご説明

(1) 研究の概要について

研究題名：

重大事案発生時の患者・家族と医療者の診療経過の捉え方の相違～産科医療補償制度データを用いたパイロット研究～

研究の概略：

重大事案が発生した時の診療経過や医療者の説明や対応についての捉え方が、医療者と患者・家族とで異なることがあります。どのような場面や内容において、この相違が生じやすいのか、医療者はどのようなことを留意して診療および、経過説明を実践していけば、医療の質と医療安全の向上につながるのかを調査する研究です。

承認番号： 第 M2023-368 番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から 2029 年 3 月 31 日

実施責任者：

東京医科歯科大学病院クオリティ・マネジメント・センター
センター長 伏見清秀

共同研究機関

東京大学病院 国立大学病院データベースセンター
研究責任者 中部 貴央

(2) 研究の意義・目的について

重大事案が発生した時の診療経過や医療者の説明や対応についての捉え方が、医療者と患者・家族とで異なることがあります。どのような場面や内容において、この相違が生じやすいのか、医療者はどのようなことを留意して診療および、経過説明を実践していくべきなのかを調査します。研究結果を、卒前・卒後教育の教材開発にも役立てることで医療の質と医療安全の向上をめざします。

(3) 研究の方法について

2009 年から 2017 年までに出生し、産科医療補償制度対象となった方の原因分析報告書全体版（マスキング版）と産科補償制度データの利用申請を日本医療機能評価機構に行い、許可されたうえで提供されたデータを分析します。このデータには個人情報情報は含まれません。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

本研究は開示されたデータのみを用いますので、対象となった方および、保護者様に生じる不利益はございません。

(5) 個人情報の保護について

本研究では個人情報を使用いたしません。

(6) 研究成果の公表について

研究結果は、医学、法学の学会での発表や論文として、学術雑誌や専門書籍等で報告します。研究にご協力いただいた方の個人が同定されない形で公表いたします。

(7) 問い合わせ等の連絡先：

本研究についてご質問等がある場合は、下記窓口までご連絡ください。

研究者連絡先：東京医科歯科大学医学部附属病院

クオリティ・マネジメント・センター

センター長 伏見清秀

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-4191 (ダイヤルイン) (対応可能時間帯：平日 9:30～17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)